

毎日コロナウィルス感染者が増え、心配な中で年末年始を迎えようとしています。

今年は幼稚園 65 周年記念という節目の年で、これまでの歩みの中での皆様のお支えに感謝する年でした。

来年は鎮西学院 140 周年記念の年となります。

これまでの歴史にも数々の困難がありましたが、乗り越えてきたからこそ今があります。神さまのお守りのもと、明るい未来が開けると信じて、新しい年を迎えたいと思います。

皆様もそれぞれのご家庭でよいクリスマス、新年をお迎えください。今学期も大変お世話になりました。

～読んだ絵本の紹介～

(年少組) クリスマスのまえのばん クレムント＝ムア 誌 / タシャ＝チューダ 絵 なかむらたえこ 訳 偕成社

年少さんがどれくらいサンタさんの理解しているのかと興味があり、読んでみました。やはり、年少くらいでも、空からやってくると思っている様子でしたよ…(^^)

絵もとてもきれいで、カラーのページと白黒のページが交互になっています。ちょっと長いお話でしたが、短歌のような文字数でリズムカルに読むことができ、聞いている子どもたちも心地よさそうでした。

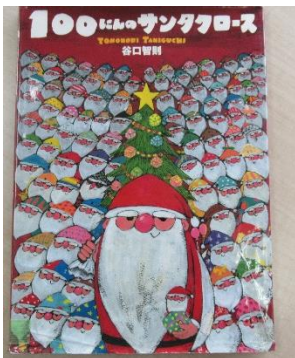


(にじ組) 100 人のサンタクロース

作・絵

谷口 智則

文溪堂



100人のサンタさんのお話。

クリスマスの準備から忙しい当日、そして終わった後のパーティーの様子と続きます。

表紙のうらには“大きいサンタ”“カレンダーサンタ”“たしさんサンタ”“バリトンサンタ” etc. たくさんのサンタさんの楽しい紹介。子ども達はとても親しみを感じている様子でした。

最後にみんな揃ったか確認すると…一人足りず…お寝坊サンタさんがベッドの中でした。

(そら組) あのね、サンタのくにではね… (原案) 松本智年 一式恭子 (文) 嘉納順子 黒井 健 絵

サンタさんの1年間が月ごとで紹介される絵本です。

昨年、サンタさんの1年間の発表をした子ども達。この絵本を持っていくとそのことを思い出し、「にじの時、したね～」との声。

そら組で絵本を読んだ日が、サンタさんが園に来てくれた日の午後でしたので、いつも以上に想像を膨らませながら見ていた様子でした。

ちなみに園に来てくれたサンタは、ニセモノだったそうです。その理由は「若すぎた！」と子ども達は言っていました。

大人にもサンタさんが来て欲しいですね…(^^)

